

## 第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

### 報告書資料 復興支援 - 08

学校名・団体名	白石市立南中学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	自己肯定感を育てる学校づくり～学校統合を乗り越えて～
<p>〈活動・研究の意義および活動報告〉</p> <p>(1) 地域の小規模校3校が共同で進める東北生活文化大学生生活美術学科と連携した授業づくりプロジェクト 生徒の感性を高め、自己有用感を育てることをねらいとし、美術の専門学科を有する大学と連携して授業づくりを行い、宮城県内の教職員に公開し研修の機会を設けた。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 6月25日 南中学校 連携授業「ランドマークプロジェクト」・講演 講師：瀬戸典彦 氏</li><li>・ 7月 5日 白川中学校 連携授業「描画材料の色々」 講師：北折整 氏</li><li>・ 7月11日 小原中学校 連携授業「ろくろ線を描いてみよう（下絵付け体験）」 講師：立花布美子 氏</li><li>・ 11月 2日 南中学校 連携授業「モザイクでコースターを作ろう」・講演 講師：森敏美 氏</li><li>・ 11月 7日 小原中学校 連携授業「世界をつなぐ彫刻」 講師：佐藤淳一 氏</li><li>・ 11月21日 小原中学校 連携授業「エコ版画・板紙凹凸版」 講師：大堀恵子 氏</li><li>・ 12月14日 南中学校 連携授業「エコ版画・板紙凹凸版」 講師：大堀恵子 氏</li><li>・ 1月14日 白川中学校 連携授業「モザイクでコースターを作ろう」 講師：森敏美 氏</li><li>・ 2月14日 白川中学校 連携授業「ランドマークプロジェクト」 講師：瀬戸典彦 氏</li><li>・ 2月19日 南中学校 連携授業「ろくろ線を描いてみよう（下絵付け体験）」 講師：立花布美子 氏</li></ul> <p>(2) 協同学習を取り入れた南中学校ならではの授業スタイルの構築 学校でなければできない学習、仲間とともに高め合える学習課題づくりをテーマに、昨年度までの研究を土台に協同学習を通じた本校ならではの授業スタイルを構築した。2回の授業づくり研究フォーラムを開催し、宮城県内教職員の研修の機会を設けた。</p>	

- ・12月3日 第1回授業づくり研究フォーラム「感性を磨く授業づくり」～中高連携・国語科と美術科で創造する新しい授業～  
 中高連携校内研究授業 美術「鑑賞：パブロ＝ピカソ」 授業者：教諭 太田翔  
 中高連携公開研究授業 国語「君はピカソを知っているか」  
 授業者：仙台第三高等学校 主幹教諭 滝井隆太 氏  
 講演「未来に通じる学力の育て方」 講師：仙台第三高等学校 主幹教諭 滝井隆太 氏
- ・12月13日 白石市小・中学校初任者層研修会  
 校内研究授業 音楽「交響曲第5番ハ短調」 授業者：講師 阿部栞奈  
 公開授業 音楽「ことばの中から音楽を見つけよう！」 講師：仙台向山高等学校 校長 水口俊彦 氏  
 講演「内にあるもの 外にあるもの！～何が教育を支えているか～」  
 講師：仙台向山高等学校 校長 水口俊彦 氏
- ・2月21日 被災地研修  
 石川県から研修に参加した岡崎剛平教諭と共に本校教務主任佐藤正一が被災地視察を行った。  
 女川町の復興状況，石巻市立大川小学校の視察
- ・2月22日 第2回授業づくり研究フォーラム  
 協同学習実践校連携公開授業 体育「バスケットボール」 授業者：教諭 上田隼輔  
 協同学習先進校研修報告 報告者：教諭 佐藤正一  
 講演「組織的な学校研究の推進を目指して～国府中学校の取組～」  
 講師：小松市立国府中学校 研究主任岡崎剛平 氏  
 協同学習研究実践発表「東北生活文化大学と連携した授業づくり」 発表者：研究主任 太田翔

### (3) 郷土を愛する地域発信プロジェクト

- ・7月17日 白石和紙づくり 講師：蔵富人  
 白石和紙の歴史，製作工程等についての講話，白石和紙の修了証づくり
- ・7月24日 花いっぱい運動  
 苗から花を育て，地域の一人暮らしの高齢者を訪問して鉢植えをプレゼントし，交流を深めた。
- ・通年 P S C活動  
 警察（P）と学校（S）が協力（C）して地域で防犯活動，いじめ防止活動等を展開した。

### 〈活動・研究の成果〉

- ・東北生活文化大学生活美術学科と連携した授業づくりによって生徒の感性が高まり，美術の魅力を実感することができた。また，教師が生徒の発想や表現力の豊かさをより強く実感し，生徒のよさを教員全員で認め，褒める姿が見られた。生徒と教師がさらに良い関係になった。
- ・「感性を磨く授業づくり」～中高連携・国語科と美術科で創造する新しい授業～では，国語科としての仙台第三高等学校滝井教諭の指導と美術科としての本校太田翔教諭の指導が功を奏し，生徒の感性を磨くことができた。
- ・小中高大の連携した授業づくりを通して，地域の小規模校の生徒たちが感性を豊かに育み，生き生きと学校生活を過ごす姿が見られた。
- ・学校と地域の協働で地域の魅力を体感し，後世に伝えるべき伝統を身に付けさせ，郷土愛を育むことができた。